

## 2019 年度 推薦入学試験（一般推薦等） 産業情報学部 企業システム学科「出題の意図」

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
64	51

※一般推薦（指定校含む）、文化活動推薦、専門・総合推薦の総計

### 2. 企業システム学科 アドミッション・ポリシー

企業システム学科では、情報化、国際化の進展の中、多様なビジネス活動に対応できる人材の育成を目指し、「マーケティング」「経営」「会計」の3分野を柱に専門的、体系的に学んでいきます。よって、本学科では以下のような志願者を求めます。

1. 基礎的な教養を身につけ、自分自身のスキルや能力を鍛える意志を持っている人物。
2. 企業システム学科で学びたい事を自覚し、表現できる人物。
3. 大学卒業後のビジョンを抱き、地域・国際社会に貢献する意欲を有する人物。

さらに、学力だけでは計れない多様な資質を有する学生をA O型入学試験によって受け入れ、その資質を開花させるために必要な教育を通して将来のビジネス社会で活躍できる人材育成を行います。

A O型入学試験では、特に、次のような志願者を求めます。

- ①他者に誇れる活動や実績等を有している人物。
- ②企業システム学科で学びたい事を明確にアピールできる人物。
- ③大学卒業後のビジョンを抱き、自己研鑽ができる人物。

### 3. 出題の意図

企業システム学科では学生に、日ごろより、自身の地域がかかえる身近な課題や社会問題(ビジネス・企業問題を含む)に関心をもち、主体的に考えてほしいと思っている。今年度の推薦入試では、受験生にとって身近な地域問題・社会問題をひとつ提示し、それについて考察してもらう。

問題に対して、それを理解し、ふかく考え、自身の見解をまとめ、それを表現する力をみていきたい。理解し、考え、まとめ、表現する過程にあつては、高等学校2年生課程までに修得した知識（たとえば「現代社会」・「政治・経済」・「商業経済」などの科目で修得した知識）を、うまく活用できているかどうかをみていきたい。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

特になし。